

# 東北地方 1か月予報

(11月20日から12月19日までの天候見通し)

平成22年11月19日  
仙台管区気象台発表

## <予想される向こう1か月の天候>

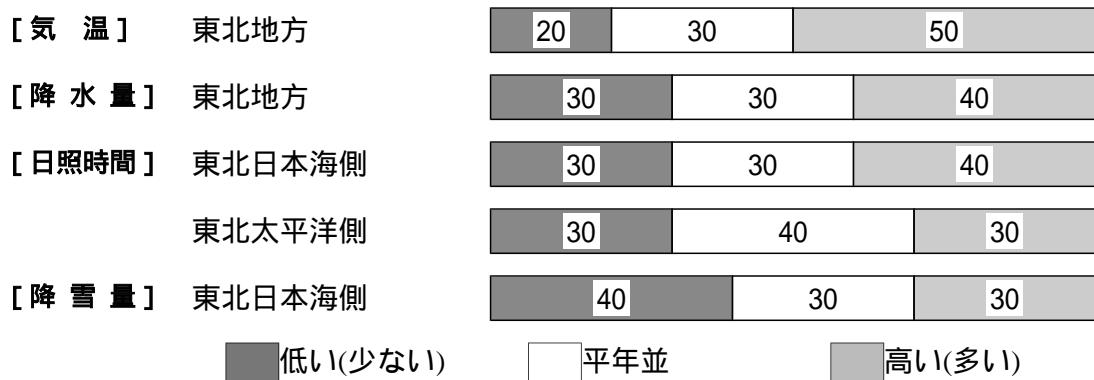
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとあります。

東北日本海側は平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

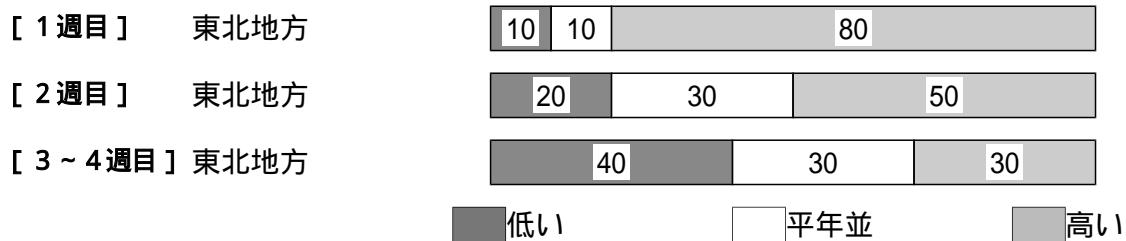
向こう1か月の平均気温は、高い確率が50%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率が80%です。2週目は、高い確率が50%です。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



## <気温経過の各階級の確率(%)>



## <予報の対象期間>

1か月 : 11月20日(土) ~ 12月19日(日)

1週目 : 11月20日(土) ~ 11月26日(金)

2週目 : 11月27日(土) ~ 12月 3日(金)

3~4週目 : 12月 4日(土) ~ 12月17日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は11月26日

3か月予報:11月25日(木) 14時

## <参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温( )	降水量(mm)	日照時間(時間)	降雪量(cm)	気温( )		
					1週目	2週目	3~4週目
青森	3.0	142.9	61.0	115	5.0	3.7	1.9
深浦	4.0	142.9	40.8	47	6.0	4.7	3.0
むつ	2.8	104.4	78.0	71	4.9	3.5	1.8
八戸	3.3	45.7	125.3	28	5.2	3.9	2.3
秋田	4.3	178.0	53.2	53	6.2	5.0	3.3
盛岡	2.4	76.6	101.1	46	4.2	3.0	1.4
大船渡	5.0	59.3	132.8	0	6.8	5.7	4.1
宮古	4.6	56.8	144.6	6	6.4	5.2	3.6
仙台	5.9	34.2	137.4	0	7.7	6.5	4.9
石巻	4.9	34.4	146.6	0	6.8	5.6	4.0
山形	3.9	79.2	83.8	56	5.7	4.6	3.0
新庄	3.0	206.9	40.2	107	4.9	3.7	2.0
酒田	5.8	223.5	49.3	39	7.6	6.4	4.9
福島	5.7	39.6	125.2	18	7.4	6.3	4.8
若松	3.5	80.8	73.1	56	5.4	4.1	2.5
白河	4.3	39.8	151.3	5	6.1	4.9	3.3
小名浜	7.6	54.4	172.6	0	9.3	8.1	6.6

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.4 ~ +0.5	81 ~ 100	98 ~ 104	62 ~ 108
東北日本海側	-0.5 ~ +0.5	91 ~ 107	93 ~ 107	71 ~ 113
東北太平洋側	-0.4 ~ +0.5	66 ~ 101	96 ~ 105	52 ~ 103

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6 ~ +0.6	-0.7 ~ +0.7	-0.5 ~ +0.7
東北日本海側	-0.6 ~ +0.6	-0.8 ~ +0.7	-0.5 ~ +0.7
東北太平洋側	-0.6 ~ +0.6	-0.7 ~ +0.7	-0.4 ~ +0.8

## <参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1よりも多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成22年11月19日 仙台管区気象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

### 向こう1か月 (11月20日~12月19日) :

気圧の谷が数日の周期で通過し、気圧の谷の通過後は一時冬型の気圧配置となるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の平均気温は、高い確率が50%です。

### 1週目 (11月20日~11月26日) :

天気は数日の周期で変わり、期間の中頃と終わりは雨の降る所があるでしょう。

気温は、高い確率が80%です。

### 2週目 (11月27日~12月3日) :

気圧の谷が数日の周期で通過し、気圧の谷の通過後は一時冬型の気圧配置となるでしょう。東北日本海側は平年に比べ曇りや雨または雪の日が少なく、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

気温は、高い確率が50%です。

### 3~4週目 (12月4日~12月17日) :

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

気温は、各階級の確率の偏りは小さい。

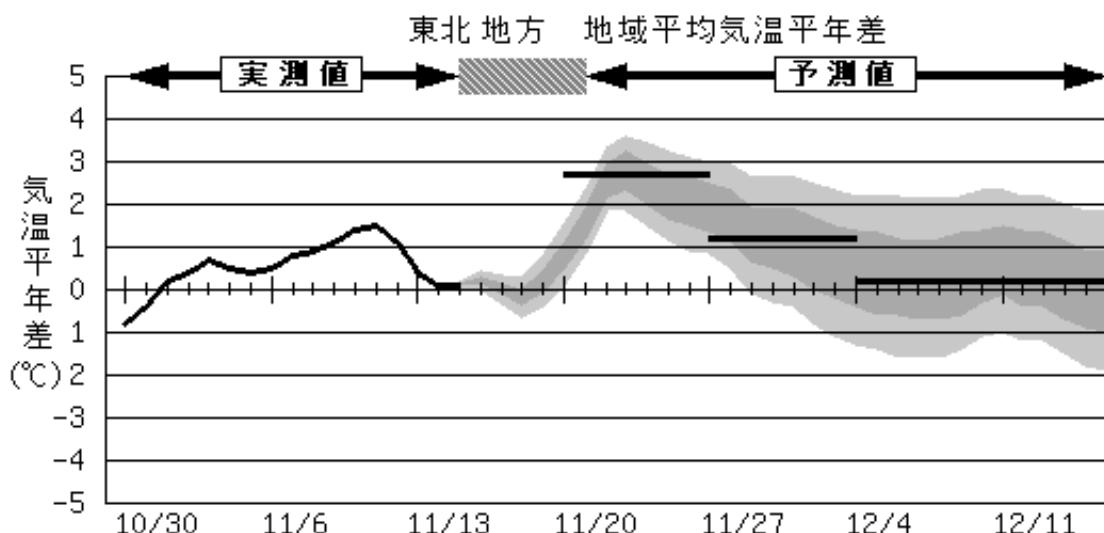
主な気象官署の、向こう4週間の平年の天気出現日数(日)

青森		秋田		盛岡		仙台		山形		福島	
晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
6.0	18.6	5.0	19.0	12.5	11.5	17.2	4.9	8.9	12.5	15.7	5.9

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目、2週目はともに平年を上回り、3~4週目は平年付近の予想となっている。



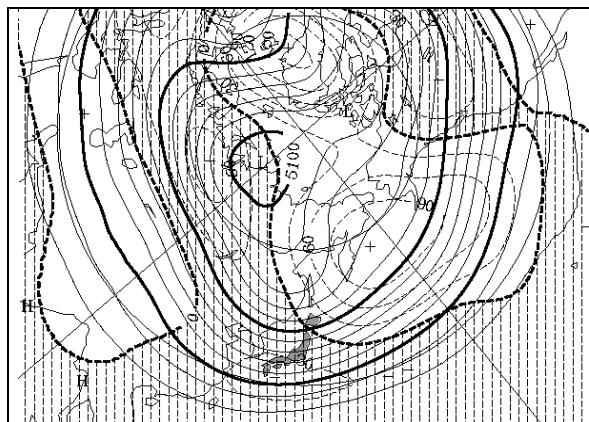
- グラフの値は全て7日間平均値であり、横軸の値は平均期間の中日。
- 予測期間には7日間平均気温の予想に対する信頼の程度が40%の幅(濃い陰影の範囲)と、信頼の程度が70%の幅(濃い陰影と薄い陰影の範囲)を表示。
- 水平な3本の実線は、予報期間の1週目、2週目、3~4週目の平均を表す。
- ハッチの期間は、発表日の観測値が確定していないため、観測値と予測値に基づいて結んでいる。

### 3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1か月平均: カムチャツカの東を中心に正偏差、シベリア中部から日本の南にかけて負偏差で、北日本は偏差は小さい。850hPa 気温偏差図(図略)では北日本は正偏差で高温を予想するが、負偏差が東北地方の近くにあり一時寒気の影響も見込む。

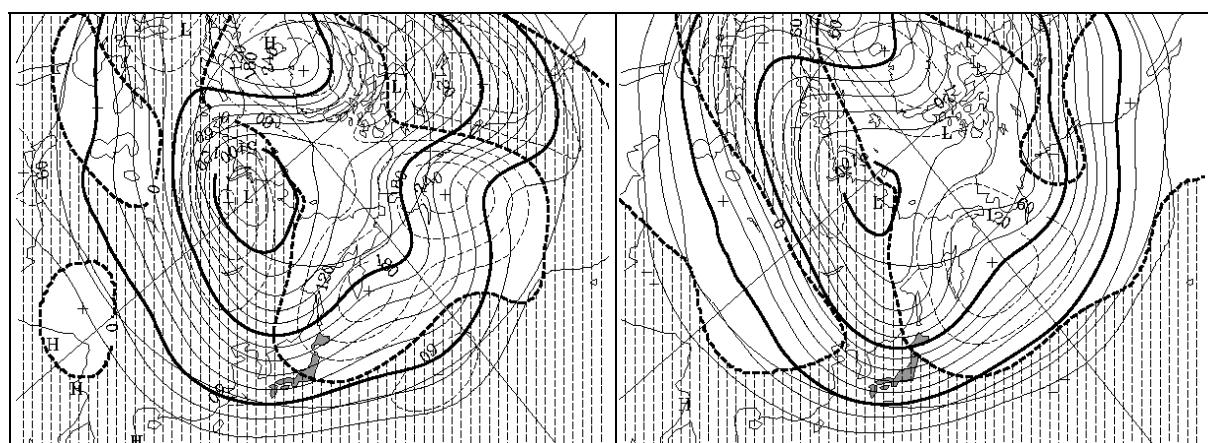
1週目: 北日本はカムチャツカの東を中心に正偏差をおおわれる。850hPa 気温偏差図(図略)でも北日本は顕著な正偏差で、高温が予想される。

2週目: アリューシャン近海を中心に正偏差、東日本以西は負偏差で、北日本は偏差は小さい。850hPa 気温偏差図(図略)では北日本は正偏差で高温を予想するが、負偏差が東北地方の近くにあり一時寒気の影響も見込む。



1か月平均 500hPa 予想天気図

図の見方は1, 2週目と同じ。ただし偏差の間隔は30m。



1週目平均 500hPa 予想天気図

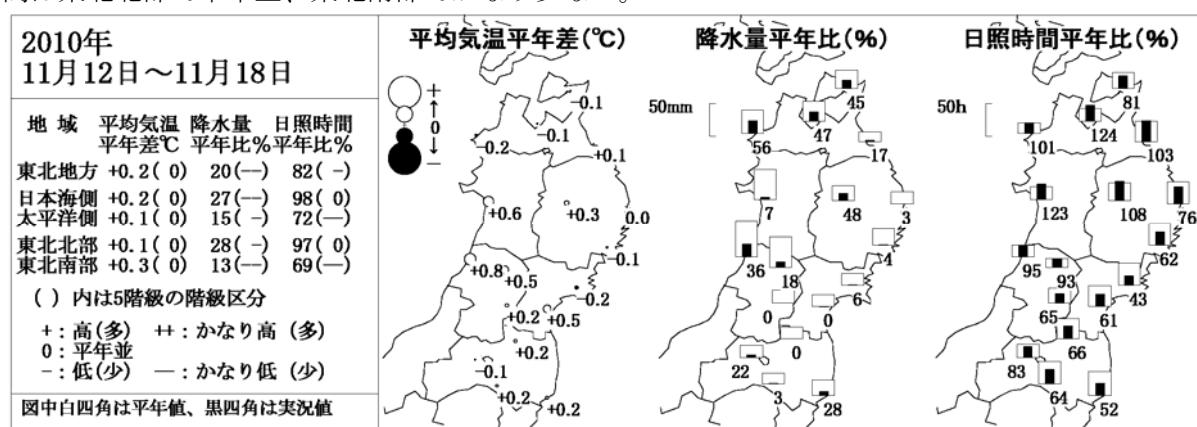
2週目平均 500hPa 予想天気図

実線は等高度線(間隔 60m)、点線は偏差(間隔 60m)。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。

### 4. 最近1週間 (11月12日～11月18日) の天候の経過

この期間、気圧の谷の影響で曇りの日が多く、東北北部で雨や雪の日があったが、期間のはじめと終わりは晴れた日もあった。気温は、期間の前半は南から暖かい空気が入り高温となつたが、期間の後半は寒気の影響で低温となつた。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北北部で少なく、東北南部でかなり少ない。日照時間は東北北部で平年並、東北南部でかなり少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)